

## 平成30年度熊本県農業研究センター果樹関係研究成果発表会開催要領

### 1 趣旨

熊本県における農業試験研究の基本方針では、農業者が将来にわたって夢を描けるよう、国際競争力を見据えた「稼げる農業」の更なる加速化を目指して複合的な取り組みによる持続可能な農業に向けた技術開発を掲げている。この方針に基づき、果樹関係の試験研究機関では、くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定、消費者ニーズに対応した高品質果実の連年安定生産・出荷技術の開発、持続的安定生産のための環境保全型生産技術の開発を進めている。

本成果発表会では、果樹に関する研究成果を広く関係者に伝達し、今後の試験研究の方向等について検討するため、下記により研究成果発表会を開催する。特に、熊本県で開発されたカンキツ新品種「熊本EC12」の普及を前に、品種・栽培特性の周知を図るため、試食及び特性検討を行う。

### 2 開催日時

平成30年12月13日（木）13:30～16:30

### 3 開催場所

熊本県農業研究センター果樹研究所研修館  
(宇城市松橋町豊福 2566 TEL: 0964-32-1723)

### 4 主催

熊本県農業研究センター

### 5 日程

受付 13:00～13:30

1) 開会 13:30

2) あいさつ

3) 成果発表 (13:45～14:50)

(1) 加温栽培ヒリュウ台「肥の豊」の成木初期における安定生産のための適正着果量 (13分)  
常緑果樹研究室 研究参事 藤澤珠子

(2) 亜熱帯果樹ライチ「篤姫」の加温栽培における生育特性 (13分)

天草農業研究所 研究参事 東 貴彦

(3) モモ新品種「さくひめ」の特性と県内における導入可能地域の推定 (13分)

落葉果樹研究室 研究参事 岩谷章生

(4) クリ果実の冷蔵処理によるクリシギゾウムシの被害抑制効果 (13分)

病虫化学研究室 室長 戸田世嗣

(5) 平坦地における収穫ネットを活用したクリ収穫作業の省力化 (13分)

球磨農業研究所 研究参事 堺 一樹

4) 総合討議(14:50～15:00)

(休憩 15:00～15:10)

5) カンキツ新品種「熊本EC12」検討(15:10～16:30)

(1) 成果発表 (15:10～15:25)

カンキツ新品種「熊本EC12」の特性 (15分)

常緑果樹研究室 研究参事 三原崇史

(2) 質疑応答(15:25～15:30)

(3) 試食検討 (15:30～16:00)

(4) 現地検討会 (16:00~16:30)

カンキツ「熊本EC12」の特性等について

6 参集範囲

果実連、経済連、県果樹技術者連盟、県果樹研究会、県果樹育種研究会、  
県庁果樹OB会、農協、市町村、県関係機関、県地域農業サポーター、  
農業経営同友会